

# 写真展「日本社会と難民」プレイベント開催決定

早稲田奉仕園  
**STUDY  
HALL**  
Vol.34



ストップ!  
入管法改悪  
つくろう!  
難民保護法

## カザンキラナー家と ドーガン家が残してくれたもの

2004年、渋谷にある国連大学の前で、72日間の座り込みをした二組のクルド難民家族がいました。カザンキラナー家は1996年から8年間、ドーガン家は1999年から5年間、日本で難民申請をし続けていましたが、入国管理局はそれを不認定処分として退けてきました。そこでこの二家族は、日本という国家に対してではなく、UNHCRという国際機関に対し、実名と顔を公表しながら座り込みという形を通して戦略的に訴えます。この二家族は17年前の日本での訴えを通して現在の私たちに何を残してくれたのでしょうか。このオンラインイベントでは、今の私たち一人一人ができることについて一緒に考えていくためのヒントを探します。

2021年4月3日(土)  
19:00 ~ 20:30

オンライン配信・要申込 参加費: 1000円 / 学生 500円



お申込み・詳細はこちら!

### 講師紹介



#### 周 香織 (しゅう かおり) さん

1974年、東京生まれ。2004年夏、渋谷の国連大学前でのクルド難民の座り込み抗議活動に遭遇。日本が抱える難民問題を初めて知り、強い関心を持つ。以来、クルド難民の支援を続けながら、難民・入管問題の写真展や講演会を各地で開催し、発信を続ける。



#### 進藤 令子 (しんどう れいこ) さん

学生時代から、アムネスティ・インターナショナル日本や東ゼン労組での活動を通して、日本で生活する「外国人」が組織する運動に参加する。東京大学に助教として勤務したのち、イギリスの大学にて国際関係論、安全保障論、移民・難民の授業を担当。現在はフィンランドで、研究・教育活動を行う。

お申込み・お問い合わせ 公益財団法人早稲田奉仕園 プログラム担当

【住所】東京都新宿区西早稲田 2-3-1 【TEL】03-3205-5403 【MAIL】program@hoshien.or.jp  
HPのプログラム受講申込フォームまたはメール、電話にてお申込みください。(要事前申込)

早稲田奉仕園

検索